

受理第7－4号

請 願 書

件 名

宇治市の学校給食無償化と豊かな給食を求める請願

紹介議員

大河 直幸、宮本 繁夫、坂本 優子、山崎 匡、

徳永 未来、谷上 晴彦、佐々木真由美

【請願の趣旨】

学校給食は、子どもたちの発達と教育にとって、なくてはならないものです。

一方で、給食費の負担は小学校で1人あたり年間4万円を超え、来年度から始まる中学校では年間6万円を超える見込みです。憲法第26条では義務教育の無償を掲げており、学校教育の一環である学校給食は無償で提供されるべきです。

全国では約3割の自治体が小学校中学校ともに学校給食費の完全無償化をおこなっています。保護者の教育費負担の軽減のために、宇治市でも、来年度から開始予定の中学校給食を含めて、小学校、中学校ともに完全に無償化するべきです。

同時に、子どもたちに提供される学校給食は、子どもたちの成長を支え、安全で美味しく、食育の効果が最大限発揮されることが必要です。

来年度から中学校給食が始まりますが、民間委託のセンター方式で給食調理がおこなわれます。

宇治市は長年、自校直営方式で給食を提供してきました。直営校6校以外の学校で民間委託となったもとでも、宇治市職員の給食調理員が給食の質と安全を守っています。また、自校方式の給食は、学校に給食の匂いが広がり、調理員と子どもたちの交流が生まれるとともに、きめ細やかな給食提供がおこなえ、アレルギー対応にも優れています。何よりも、宇治市の小学校の給食は、子どもたちに美味しいと評判です。

安易なコスト論ではなく、最善の給食を提供するために、学校給食調理のセンター方式化や、これ以上の民間委託を行うべきではありません。

つきましては、以下の4点についてお願いいたします。

【請願の項目】

- 1、小学校、中学校ともに宇治市の市立学校の学校給食を完全無償化すること。
- 2、自校直営方式の給食調理の維持と発展をめざし、子どもたちに豊かな学校給食を保障すること。
- 3、小学校給食でのセンター方式の導入は行わないこと。西小倉地域の小中一貫校でも自校方式の給食を提供すること
- 4、来年度から開始予定の中学校給食は、小学校給食と同様に美味しく安全な学校給食を提供すること。

令和7年 12 月 | 日

宇治市議会議長 木本 裕章 様

請願者住所

請願者名前 (代表)

宇治の学校給食無償化と豊かな給食を求める会
坂田 恵

請願者住所

請願者名前

奥西 ちひろ

請願者住所

請願者名前

吉川 久実
大河